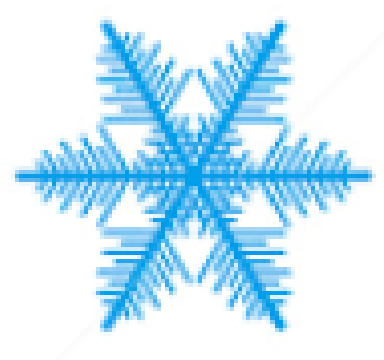


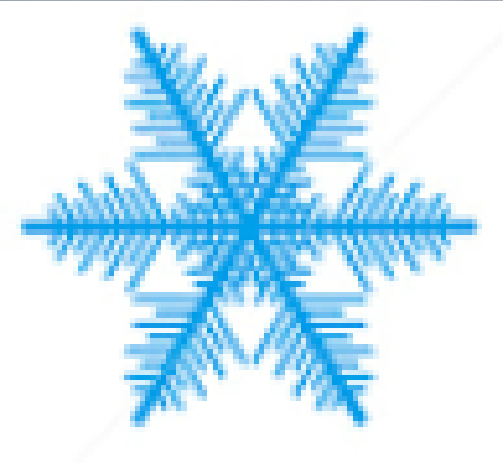


雪の結晶学会報告

平成28年2月29日～3月1日



2016年2月29日、11:18:54こうして実験・観察は始まりました。



入念な始業点検は何におきましても重要です。



勿論、結晶のその場観察も重要です。



広い会場、もっともっと海外からのプレイヤーを呼び込みたいものです。



ブリザードの中、研究会は続けられました。



分科会もそここで行われました。そうです。テーマは、「澆液」

宇田先生から、ウェアへのコーティングのご注文も受けました。
現在の先生の胸の辺りはコーティング剤ではありません。





外の天気は、相当に吹雪いておりますが、皆様笑顔です。



頂上に着きました。吹雪いて樹氷がよく見えません。



厳しい自然の中ではありますが、なんとなくワクワクする瞬間です。



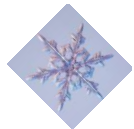
データ取りが遅れ、もう被写体は遠く、写真中央の被写体がどなたであったかは不明です。ですがこの新雪最高でした。(ザイラーコースの下付近)



アッという間にガスの中へと消えていきます。
では、直下利で追いかけます。



巻き上げる雪がスピード感を反映しています。



おはようございます。
朝食のひととき。2日目の始まりです。





24時間、硫黄の匂いの温泉を楽しみました。



意外と重要なバックヤードの資料です。



病気を人にうつし、自分は病気から開放されたいというやから
もいたようですが、今回は失敗。





雪国の風景は、いつ見てもいいですね。
とくに埋もれた車などみるにつけ、ワクワクします。





気持ちは山頂へ

しかし、自然は常に厳しく

またの機会となりました。



2m先が見えないことも多々ありました。







データは着々積み上げられています。









「クレージー・トラバース」、「ここから先はもどれません」の看板に引き込まれ、
怖いもの見たさ吸い寄せられました。



有りました！大きく成長したオーバーハング！



早速研究者たちの調査が始まります。



調査隊は横倉の壁に向かいます。何かがあるというのです。



いや一本当に楽しい2日間でした。
雪に恵まれ、ふかふかの新雪は最高でした。

宇田先生、藤原先生、小泉先生、野沢先生、前田さん、小山さん、船田さん
沼田さん、坂野さん、竹原さん、皆様、本当にありがとうございました。

また、就活中のご多用の中、いろいろと御世話になりました皆様にも感謝申し上げます。しかしながら、そのご多用の中でも計画を実行される実行力は将来にも大きく繋がるものと思います。ご健闘をお祈り致します。

次回もこのような会には、是非とも参加させて頂きたく、よろしく御願い申し上げます。

レポーターは、
飛び入りのFTB研究所
堀岡でした。お蔭様で
良い結晶成長に戻れます。
御礼方々、ご報告まで。

その他の写真も研究室
で保管頂き
たく。